

会合

令和4年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省の委託「新興国等におけるエネルギー使用合理化に資する事業（省エネルギー人材育成事業）」を受けて、2022年8月24日～25日の2日間タイ・バンコクに関係者が集合（一部メンバーはオンラインで参加）して本年度の初回会合を開催しました。AJEEP（ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership）の事業計画・取組み内容を各国と協議し、本年度から開始する以下の2つのスキームの準備に着手することを確認しました。

- (1) ASEAN 共通のエネルギー管理及びその応用に関する資格制度確立（スキーム4）
- (2) カーボンニュートラル（CN）に向けたエネルギー利用技術の普及促進（スキーム5）



バンコク会場の参加者の集合写真



オンライン参加者

会合には ASEAN 各国から ASEAN 省エネルギー一部会（EE&C-SSN）の代表と対話国との事業調整を行う ACE（ASEAN Centre for Energy）が参加し、2つのスキームの目的と本年度の実施計画を確認しました。

- (1) 開会挨拶では、ホスト国タイのエネルギー省代替エネルギー開発・効率化局と ACE から APAEC Phase-II と連動した AJEEP 新スキーム開始にあたっての期待が述べられ、ECCJ からはタイを初めとした ASEAN 各国や ACE の本事業への協力の感謝、2050 年 CN に向けた日本の政策と AZEC など Asia 向け支援スキーム、今年度から始まる2つのスキームのポイントが紹介されました。
- (2) スキーム4では2つのレベルの資格を認定します。1つは各国の認定システムを調和した Common module による ASEAN 地域で幅広く活躍する認定エネルギー管理士です。もう1つは現場のエネルギー管理手法に加えて、プロジェクト企画、設備選定、資金調達とコスト管理などの知識・スキルを保有し CN 関連プロジェクトを形成・運営管理できる専門家人材です。
11月にリサーチフォーラム（ECAP27）を実施し、各国認定システムの詳細を調査した上で、資格制度の構築に取り掛かることとしました。
- (3) スキーム5では、産業・運輸・ビル部門の CN に向けた情報の共有を行います。10月のキックオフミーティングでは ASEAN 各国から CN 政策や情報共有を希望する技術、脱炭素・省エネ診断を実施する上での課題を報告してもらいます。
2回の受入研修（ECAP28/29）では、産業・運輸部門に向けた脱炭素技術紹介とビル部門の ZEB に関する技術の紹介や工場・ビルの仮想訪問を行うこととしました。

APAEC: ASEAN Plan of Action for Energy Cooperation

ECAP: Energy Conservation Workshop under AJEEP